賃金闘争を顧て

本部　竹原達也

一九五三年の新春を迎え今次十・一闘争をあらゆる角度から反省し鋭利なる批判がなされると十二日中央執行委員会に於ても闘争自己批判がなされることもあるし各部門に於ても専門的立場に於て具体的事項に対して分析される筈である。私も私なりに抽象的に既するかも知れませんが闘争的闘争の過程を考えて見て私なりの感じたことを忌憚なく書いてみたいと思います。

第一に政治的闘争の意義のみが過大評価され過ぎていなかつたかという点―

当初から総評の指導的方針によつて疲労、困憊を主動体とする今次の労働攻勢は総資本対総労働の対決の秋季闘争であるという本質的闘争の性格はたしかにあつた。何故ならば占領治下における日本労働運動は労働者自身の力による正常なる発展ではなく占領政策のワクのなかでゆがめられ育てられてきたのが実状である。それが講和条約締結発効後の始めての労資間の闘争である事態のためにも決して負けられぬ一戦であつた。そのように本質的闘争の性格があつたことは否定出来ない事実であるが一般に与えた感銘は政治革命に通ずる気魄を想わしめ、過程に於ては故意に闘争を長引かせ政治的意図を持つもの、如く危惧の念を抱かしめたことは我々労働階級にとつては必ずしもプラスにはならなかつた。しかしながら心ある人々は日本における国内的諸情勢の分析からして経済闘争を主たる目的にするものであつても政治的強力なる推進がなければ目的を完遂し得ない要素を大分にもつていることを理解してもらつたことを信じている。勿論その責任は連盟側の事態収拾の不誠意から招来された遅延にあつたことは計り知ることができる。

第二にマ・バ（全物労式）方式採用の点―

賃金算定に当つてマ・バ方式による労働者としてゆしでも文化的生活確立のために必要なる理論生計費に基礎を置いた坑内一〇KO円、坑外五六〇円の賃金要求に対して連盟側は労働者は「ストをやればベース・アップが必ず出来ると思つているものだ」と思い、断固粉砕しておこうと取組んできたものであるしく当初から今までにかつてない頑迷なる態度で臨んできたことは今次闘争を長期に追込んだものである。水と油の相対的立場をはつきりとマ・バ方式によるベース・アップに対し基本的考え方の差異を見出すわけである。十月十三、十四日の四十八時間ストに引続き十七日からの無期限ストに突入の闘争の端緒もこの基本的問題の対立にある。私はマ・バ方式の賃金算定の是非を今こゝで言及したいとは思わないが唯我々炭鉱労働者のさゝやかながらも文化的生活をして行く上に於ての必死の要求であり、その家族の心からなる悲願であつたことは、はつきりいえると思う。又全肉体労働を以てする我々炭鉱労働者の賃金が如何に他産業の労働賃金より安いかは天下周知の事実であつて誰一人としてこれを否定することは出来ないであろう。勿論学術的、技術的、精神的いろ〜の面における生産的要素はあるであろうが日本の現在の社会情勢の下にがては各労働者の家庭生活につながる生活賃金的意味を含んでいる現状に於ては許されべき筈がない。その悲壮なる生活状態の切実なる一致した気持が組合員といわずその主婦までが最後まで肉を食いしばつて闘わしめた所以であると私は信じている。この点経営者自体も大いに反省してもらいたいものである。今後の問題としていえることは労資共ハツタリのない厳粛のない要求であり意地や感情から離れた誠実なる交渉によつて一致点を追求する誠意が問題になつてくると思う。資本と労働の宿命的対立の必然性は日本経済の一環としての立場と企業を守ろうとする愛山的精神の血の流れの中には日本人としてあるいは人間としての立場に立つ解決の方途が見出されて行くべきであると思う（終）

次のたゝかいへ
シリーズ（10）

三日の長期にわたる、日本労働運動史上かつて見ることのない歴史的大闘争も「緊急調整」の権力の介入によつて、一応終止符が打たれたとはいえ、今後に幾多の問題を残しているものと思う。私は思う労資共謙虚な気持で今次闘争に関する一切の問題をあらゆる角度から反省し峻烈なる批判がなされ、きであると十二日中央執行委員会に於ても闘争自己批判がなされることもあるし各部門に於ても専門的立場に於て具体的事項に対して分析される筈である。私も私なりに抽象的に既するかも知れませんが闘争的闘争の過程を考えて見て私なりの感じたことを忌憚なく書いてみたいと思います。

戦力の蓄積が急務
統一交渉に反省すべき諸點
今次闘争三池の自己批判

新春初の中央委員会に於て浦川副組合長から今次賃金闘争の自己批判が發表された。これは十一日の中央執行委員会に於て確認された池の自己批判として提出される事となつた。

賃闘自己批判

一、十七社の統一交渉について従前より一歩前進であつたとはいえるが個々の問題、例えば企業差、戦力の均衡、戦術委、中闘委の選出方法等については充分反省すべきである。

二、常盤の脱落＝当初より計画された、常盤幹部の分裂行為である。

三、職組の戦線離脱＝職組全般の実情を調査の上、態度を決定するが、職組問題の徹底的批判は三月大会に提出される行動方針の基本的なものを生出すためになさるべきである。（今後の闘力を闘争を推進して行く為）

四、戦力蓄積の問題＝今次闘争を省みて万全でなかつた事は率直に認めざるを得ない。今後組合員の階級意識の再確認の上に立つてその高揚につとめると共に次の戦力の培養の為闘争資金の蓄積に努力し、その為積立金の増額、負債の早急返済等も考慮すべきである。生活対策についても生協の組織化や労金への積びつき等に努力すべきである。

五、資本別組合への在り方＝将来は産別組合への発展を前提としてその一段階と考えねばならない資本のエゴはすべて、進むべき在

六、マーケット・バスケット方式＝購買活動の強化によつてもつと大衆化しなければならない。

七、総資本と総労働の対決について＝総資本はまとまつたが総労働は残念ながら充分結集し得なかつた。各単産に自己反省を求め、要は総評を強化すべきである。

八、調査機構＝貯炭の増減にあるまで厳選し、常に総資本との対決である事を前提として戦術をたてなければならない。

十一、中労委、政府の動きに対し＝今次闘争に際し与党内民主化同盟の内紛等で緊急調整が仲々出せなかつた事情などから考えても野党勢力をもつと強化する必要が痛感される。その為には各あらゆる機会に労働者代表を出来るだけ多く送り出すべきである。外部からの借入金は労働金庫から

十、スト戦術＝裏取性のある然も相手に最も打撃を与える有効な戦術をとる事。戦術の決定は山元の眼勝を把握して慎重に決定また質的なものも考慮する必要がある。

九、情報の的確性とスピード化＝スト中止の真相など電話で得た内容とオルグ報告の間に食い違いがあつた、確実且つ迅速に情報が得られるよう努力すべきである。

八、調査機構＝貯炭の増減にあるまで厳選し、常に総資本との対決である事を前提として戦術をたてなければならない。

七、資本別組合への在り方＝将来は産別組合への発展を前提としてその一段階と考えねばならない資本のエゴはすべて、進むべき在

六、マーケット・バスケット方式＝購買活動の強化によつてもつと大衆化しなければならない。

五、資本別組合への在り方＝将来は産別組合への発展を前提としてその一段階と考えねばならない資本のエゴはすべて、進むべき在

四、戦力蓄積の問題＝今次闘争を省みて万全でなかつた事は率直に認めざるを得ない。今後組合員の階級意識の再確認の上に立つてその高揚につとめると共に次の戦力の培養の為闘争資金の蓄積に努力し、その為積立金の増額、負債の早急返済等も考慮すべきである。生活対策についても生協の組織化や労金への積びつき等に努力すべきである。

三、職組の戦線離脱＝職組全般の実情を調査の上、態度を決定するが、職組問題の徹底的批判は三月大会に提出される行動方針の基本的なものを生出すためになさるべきである。（今後の闘力を闘争を推進して行く為）

二、常盤の脱落＝当初より計画された、常盤幹部の分裂行為である。

一、十七社の統一交渉について従前より一歩前進であつたとはいえるが個々の問題、例えば企業差、戦力の均衡、戦術委、中闘委の選出方法等については充分反省すべきである。

期末手當闘争の自己批判

一、共闘運絡会議を開催せよとの強い主張にも拘らずこれが充分運営されず、先頭に立つな、チ

借金、六月で完済
知つて頂きたい借入金の内譯

生活資金の返済については十二日千八百万円、他単産から千九百万円、計三千七百万円となつて居りこれを当面三井信託並に帝国銀行の中央委員会で愈々四月十五日から毎月千円宛返済と決定したが、三池鉱業では引続き以上三点につき会社側と交渉を行つて居たが、十二日次のように決定した旨宮川中

三井3位に食込む
三池は地力を出し得ず13位
豪華・第4回朝日驛傳

十一日第四回朝日駅伝は十九チーム旭化成二位を破れ三位でゴール、吾が三池チームは昨年八位であつたが各選手の不調もあつて十三位でゴールした。

△一区は福岡―篠栗十四粁五百の間で行われた三井鉱山は曽藤、三池は乗行の二君が出場、篠栗街道に出る二股瀬附近迄は二、三名を残して一団となり力走又力走であつたが、曽藤君は一分半位のブレーキがかゝり八位、乗行君は三池チームでは一番早く将来を期待されているが、当日も優秀メンバーに伍して九位でバトンを渡したことは上首尾であつたといえよう。

△二区篠栗―木山十一粁百　三井宮原、三池前田の両君であつたが、二人とも当日はコンディションが悪く宮原君が十一位でゴール、前田君も十五位でゴールした。

△三区八木山―飯塚十一粁二百　三井中村、三池福田君が走つた福田君は八木山下りで宮田町青年団チームを抜き十四位でバトン、中村君は旭化成、門鉄を抜き九位でバトンとの頃からAクラスとしての三井鉱山チームの力走が始つた。

△四区飯塚―田川十五粁八百　走者は三井岡本、三池淵上の両君が敢闘、岡本君はオリンピック選手内川に続く強者でこの日も期待にそむかず宇部興産、東洋工業を抜き六位でバトン、三池の淵上君は十二位の小倉市チームを追つて十四位のまゝバトン

△五区田川―直方十七粁二百　走者は三井長谷川、三池近藤の両君が出場、長谷川君は福岡AO銀座通りを抜き六位でバトン、近藤君も小倉市を目前に追つて十四位のまゝバトン

△六区直方―八幡二十一粁三百　走者三井は不調、あつたとはいえオリンピック出場の貫録をもつ内川、三池は好調を続けている高木とこゝは長距離であつて残すところ一区でこの区間は各チームとも百番抜群であつて福々番戦を予想されていたが、期待にそむかず内川はチーム順位は五位そのまゝであつたが七分二七秒で区間賞を獲得、三池高木君はピッチに物いわせて四区、五区で追つた小倉市チームを抜き十三位でバトン

△七区八幡―門司十六粁、走者三井三宅、三池宗渡であつたが、宗渡君は前日の練習で足をねんざしかはつて補欠の富斗君が出場、三宅君は全鑛筋を抜いて三位でゴールイン、富斗君は小倉市附近で麻生鉱業を抜き十二位に進出したが、門司市附近になつて小倉市チームより抜かれ十三位のまゝでゴールインした。

△八区門司―下関二十六粁百　三井畑、三池田川の両君が出場、畑君は三井鉱山の六位を抜き五位でゴール、田川君は旭化成A五位を抜き四位でゴールインした。

△九区下関―山陽二十一粁百　三井中村、三池宮原の両君が出場、三宅君は全鑛筋を抜いて三位でゴールイン、富斗君は小倉市附近で麻生鉱業を抜き十二位に進出したが、門司市附近になつて小倉市チームより抜かれ十三位のまゝでゴールインした。

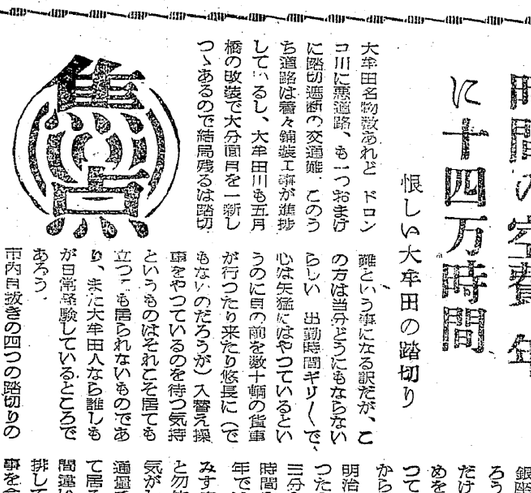
△一中央大学　五時間五九分三九秒
△二旭化成A　五〇　五九分二〇
△三三井鉱山　六〇　三〇
△四八幡製鉄　六〇　四二分二四
△五全鑛筋　六〇　六〇分三三
△六宇部興産　六〇　一〇分二四
△七福岡AO　六〇　一二分三三
△八東洋工業　六〇　一四分二九
△九旭化成B　六〇　一五分二〇
△一〇菱鉱業　六〇　一六分三五
△一一門鉄　六〇　一九分二二
△一二小倉市　六〇　二三分四八
△一三三井三池　六〇　二五分二〇
△一四麻生鉱業　六〇　二六分四
△一五西鉄　六〇　二四分四五
△一六宮田青年　六〇　四四分四六
△一七明治鉱業　六〇　四八分一五
△一八門司市　七〇　五八分八
△一九戸畑市　七〇　一六分三四

訂正

みいけ新年号（二六三号）三面所載陸談会記事中堤さんの堤町ですゝそくした。たゞ僅かに労働大会はこの際会社につけば…云々とあるは久米町とはこの際…云々の誤りにつき訂正致します。御迷惑を御掛けした向に対し深く御わびを申上げます。

時間の空費、年に十四万時間
恨しい大牟田の踏切り

大牟田名物数あれど　トロンコ川に黒遮路、も一つおまけに踏切遮断の交通難、このうち遮路は着々鋼鉄工事が進捗しているし、大牟田川も五月橋の改装で大分間月を一新しつゝあるので結局残るは踏切



遮断された不知火町の踏切

難という事になる訳だが、この方は当分どうにもならないらしい　出勤時間ギリ〜で、心は矢猛にはやつているというのに目の前を数十輌の貨車が行つたり来たり悠長に（でもないのだろうが）入替え操車をやつているのを待つ気持というものはそれこそ居ても立つても居られないものであり、また大牟田人なら誰しもが日常経験しているところであろう。

市内自被きの四つの踏切りのなかで最も交通量の多いのは銀座通りに次いで不知火町だろう。降つても照つても操車だけで日に四回、こゝで足止めを食う人数は内輪に見つもつても三百人、これが大正町から銀座通り、どうかすると明治町にまで及ぶのだから堪つたものではない。一回一八三分としても延べ数にして四百時間を下らないだろう、一年では十四万六千時間がみすみす空費されるのだと考えると勿体ないのを通り越して寒気がして来る。大牟田稀の交通量で平面交叉を未だにやつて居るというのが土蛮大きな間違いで、一日も早く立体排除して立体交叉に改められる事を念願しホウハイたる市民全体の声にまでたかめたいものであります。

感想文（三席）
講和後の労働運動
三川　金子沙一

「講和後の労働運動」は既に戦前あらゆる地位を向上させる為の唯一の手段たる自主的な組織即ち労働組合とその運動を喪失し、激烈な警察的弾圧の前に恐れを抱き、苛酷な労働条件を承服し、常に隷属的な立場に甘んじ、その不満と病弊を押えて隠忍したのであつた。

敗は続いてはおりますが、長いスパンの中にこれは前進として頂きまして、ご参考無量で今朝の元日をお迎えの事トによつて一歩前進さして頂きまして厳粛にお祈りいたします。

（一九五三、一、一）

感想文選後評
毎度のことですが戦術的対策論

毎度のことですが戦術的対策が大多数の傾向と見てよく、その戦術が何に由来して然るべきかという論理が欠けているかまたは必らずしも明らかではない様です。

多難な前途に幸ある事を念じつつこの感想を結ぶ

朝
大平社宅　三十四標　五年　平川勝弘

ぼくは、この間ゆめをみました。にわとりに、えさをやりに行つて、にわとりが、コケツコツコといつて、飛びかかつて来て、顔をつついた。ぼくは「いけないねぼうをしてしまつた」といつた。その時おかあさんが「きようは日曜日ですよ」とおつしやつた。ぼくは「あゝそうか」といつた。そうして明日朝々だといつて、飛び起きる時「あさだ、あさだ」といつてをやると、おいしそうにめえ〜めえ〜と、鳴きながらたべた。やぎにえさをやつてから、にわとりにえさをやりました。草を半分ばかりきつたときふと、ゆめでにわとりが、しんだことを思い出して心配になつた。この間見たゆめがほんとうになつたので、もしかするとぼくの家のにわとりがしんでいるかもしれないからだ。草を切りおわつて、ぬかを入れて、にわとり小屋にえさをやりに行くと、元気に遊んでいた。ぼくは心の中であよかつたといつた。ぼくはその日から朝がすきになつた。朝早く起きると、うつくしい空気もすえるし、とてもよい気持だからだ。そうして、ぼくはいつも起きる時「あさだ、あさだ」といつてない。顔をあらつて、やきにえさ

開拓史の一頁
遠い太鼓
―WB作品―

「二人の母」

一時下火になつていた母物映画が近来ふたたび新東宝によつて製作された。題して「二人の母」浜田百合子と折原啓子で大映の三益愛子の向うを張りフランダンに御涙を頂戴しようという趣向（十四日から太陽館上映）

「女一人大地を行く」
來月銀星で上映

「真空地帯」の上映で良心的経営を注目され、新春興行大井田のエクランを賑わした銀星映画ではこれが成功に意を強くし、二月第三週に過酷労の自主映画「女ひとり大地を行く」の上映を予定している。この映画はすでに紹介した通り山本薩夫監督、山田五十鈴、宇野重吉、岸旗江等進歩的な映画人がヤマの作家が物したオリヂナル作品と取り組み、北海道の現地ロケにより製作した炭鉱映画で、特に我々炭鉱労働者にとつて興味深い意欲的作品である。

因みに「真空地帯」はミイハア映画を先日に六日から十二日迄運日両員の盛況振りを示し、良心的映画の勝利を記録した。

箱根風雲録再映

前進座総出演の箱根風雲録が銀星で再映される。十六日―二十日まで。

三鑛映画

「トンチンカン三つの唄」一月十四日渡作　十五日宮浦　十六日四山　十七日本所　十八日万田緑ケ丘　十九日三作、建設　二十日三川、三池「波」一月廿一日渡作　廿二日宮浦　廿三日本所　廿四日緑ケ丘　二十五日四山　二十六日三川、三池　二十七日三作、建設

山本有三の代表作「波」を映画化したもので佐分利信が自から監督主演している文芸作品である。不倫な妻に死に分れ一人息子をかかえて生活とたゝかう一教師が息子に対する愛情と疑惑の相克にもがきながら結局は深々とした人間性にめざめるという主題は一見暗く重苦しいものさえ感じさせられるがしみ〜とした人間味によつてすくわれ佐分利の演出者としての地歩を確定せしめた大作。ある助演、桂木洋子、淡島千景、笠置衆等がそれ〜好演している。

特々配米拂出し
廿日から來月十日迄

特配米の取渡れ七万五千五百キロ（内地米五万六千キロ、準内地米一万九千五百キロ）が特々配米として来る廿日から来月十日までの間払出されるとゝなつた。（特配通帳配給は廿日まで）配給量は次の通り

△坑内＝四キロ七百（内地米三、五キロ、準内地米一、二キロ）
△坑外＝三キロ（内地米二、二キロ、準内地米〇、八キロ）
△反覆配給＝内地米のみ一キロ

平均賃金、有給休暇等有利に解決
長期ストに関連して

定年休給暇、賃給与の取扱いが法定通りでは著しく不利になるので三鉱連では引続き以上三点につき会社側と交渉を行つて居たが、十二日次のように決定した旨宮川中

今年も元氣で
臼井設建　山下ミチ子

組合の本部、支部の皆さん新年おめでとうございます。

新春を迎えるにあたりまして感慨は過ぎ越方のあまりに近い二ケ月のあの苦しかつたのも忘れられない思出となり、いやまた其の波

感想文選後評
多難な前途に幸ある事を念じつつこの感想を結ぶ

毎度のことですが戦術的対策論が大多数の傾向と見てよく、その戦術が何に由来して然るべきかという論理が欠けているかまたは必らずしも明らかではない様です。

一例を申せば資金蓄積が必要であるのは何故か―闘争が長期深刻であるのは何故か―闘争が何故その様な現象をとるのか、それは偶然そうであるのか必然的なものであるのか、現象の分析と歴史的感覚で考えて頂きたいと思います。佳作の中村君の場合の様に結論部（運動の政治性、下からのそして横〻拡がる闘争）には全たく共鳴できるのですが。

右席の高田君と佳作の釘崎君と

感想文（三席）
講和後の労働運動
三川　金子沙一

「講和後の労働運動」は既に戦前あらゆる地位を向上させる為の唯一の手段たる自主的な組織即ち労働組合とその運動を喪失し、激烈な警察的弾圧の前に恐れを抱き、苛酷な労働条件を承服し、常に隷属的な立場に甘んじ、その不満と病弊を押えて隠忍したのであつた。

敗は続いてはおりますが、長いスパンの中にこれは前進として頂きまして厳粛にお祈りいたします。

（一九五三、一、一）

朝
大平社宅　三十四標　五年　平川勝弘

ぼくは、この間ゆめをみました。にわとりに、えさをやりに行つて、にわとりが、コケツコツコといつて、飛びかかつて来て、顔をつついた。ぼくは「いけないねぼうをしてしまつた」といつた。その時おかあさんが「きようは日曜日ですよ」とおつしやつた。ぼくは「あゝそうか」といつた。そうして明日朝々だといつて、飛び起きる時「あさだ、あさだ」といつてをやると、おいしそうにめえ〜めえ〜と、鳴きながらたべた。やぎにえさをやつてから、にわとりにえさをやりました。草を半分ばかりきつたときふと、ゆめでにわとりが、しんだことを思い出して心配になつた。この間見たゆめがほんとうになつたので、もしかするとぼくの家のにわとりがしんでいるかもしれないからだ。草を切りおわつて、ぬかを入れて、にわとり小屋にえさをやりに行くと、元気に遊んでいた。ぼくは心の中であよかつたといつた。ぼくはその日から朝がすきになつた。朝早く起きると、うつくしい空気もすえるし、とてもよい気持だからだ。そうして、ぼくはいつも起きる時「あさだ、あさだ」といつてない。顔をあらつて、やきにえさ

開拓史の一頁
遠い太鼓
―WB作品―

「二人の母」

一時下火になつていた母物映画が近来ふたたび新東宝によつて製作された。題して「二人の母」浜田百合子と折原啓子で大映の三益愛子の向うを張りフランダンに御涙を頂戴しようという趣向（十四日から太陽館上映）

「女一人大地を行く」
來月銀星で上映

「真空地帯」の上映で良心的経営を注目され、新春興行大井田のエクランを賑わした銀星映画ではこれが成功に意を強くし、二月第三週に過酷労の自主映画「女ひとり大地を行く」の上映を予定している。この映画はすでに紹介した通り山本薩夫監督、山田五十鈴、宇野重吉、岸旗江等進歩的な映画人がヤマの作家が物したオリヂナル作品と取り組み、北海道の現地ロケにより製作した炭鉱映画で、特に我々炭鉱労働者にとつて興味深い意欲的作品である。

因みに「真空地帯」はミイハア映画を先日に六日から十二日迄運日両員の盛況振りを示し、良心的映画の勝利を記録した。

箱根風雲録再映

前進座総出演の箱根風雲録が銀星で再映される。十六日―二十日まで。

三鑛映画

「トンチンカン三つの唄」一月十四日渡作　十五日宮浦　十六日四山　十七日本所　十八日万田緑ケ丘　十九日三作、建設　二十日三川、三池「波」一月廿一日渡作　廿二日宮浦　廿三日本所　廿四日緑ケ丘　二十五日四山　二十六日三川、三池　二十七日三作、建設

山本有三の代表作「波」を映画化したもので佐分利信が自から監督主演している文芸作品である。不倫な妻に死に分れ一人息子をかかえて生活とたゝかう一教師が息子に対する愛情と疑惑の相克にもがきながら結局は深々とした人間性にめざめるという主題は一見暗く重苦しいものさえ感じさせられるがしみ〜としたヒューマニズムによつてすくわれ佐分利の演出者としての地歩を確定せしめた大作。ある助演、桂木洋子、淡島千景、笠置衆等がそれ〜好演している。

賃金闘争を顧て
本部　竹原達也

一九五三年の新春を迎え今次十・一闘争をあらゆる角度から反省し鋭利なる批判がなされると十二日中央執行委員会に於ても闘争自己批判がなされることもあるし各部門に於ても専門的立場に於て具体的事項に対して分析される筈である。私も私なりに抽象的に既するかも知れませんが闘争的闘争の過程を考えて見て私なりの感じたことを忌憚なく書いてみたいと思います。

第一に政治的闘争の意義のみが過大評価され過ぎていなかつたかという点―

当初から総評の指導的方針によつて疲労、困憊を主動体とする今次の労働攻勢は総資本対総労働の対決の秋季闘争であるという本質的闘争の性格はたしかにあつた。何故ならば占領治下における日本労働運動は労働者自身の力による正常なる発展ではなく占領政策のワクのなかでゆがめられ育てられてきたのが実状である。それが講和条約締結発効後の始めての労資間の闘争であつてみれば双方共今後に通ずる気魄を想わしめ、過程に於ては故意に闘争を長引かせ政治的意図を持つもの、如く危惧の念を抱かしめたことは我々労働階級にとつては必ずしもプラスにはならなかつた。しかしながら心ある人々は日本における国内的諸情勢の分析からして経済闘争を主たる目的にするものであつても政治的強力なる推進がなければ目的を完遂し得ない要素を大分にもつていることを理解してもらつたことを信じている。勿論その責任は連盟側の事態収拾の不誠意から招来された遅延にあつたことは計り知ることができる。

第二にマ・バ（全物労式）方式採用の点―

賃金算定に当つてマ・バ方式による労働者としてゆしでも文化的生活確立のために必要なる理論生計費に基礎を置いた坑内一〇KO円、坑外五六〇円の賃金要求に対して連盟側は労働者は「ストをやればベース・アップが必ず出来ると思つているものだ」と思い、断固粉砕しておこうと取組んできたものであるしく当初から今までにかつてない頑迷なる態度で臨んできたことは今次闘争を長期に追込んだものである。水と油の相対的立場をはつきりとマ・バ方式によるベース・アップに対し基本的考え方の差異を見出すわけである。十月十三、十四日の四十八時間ストに引続き十七日からの無期限ストに突入の闘争の端緒もこの基本的問題の対立にある。私はマ・バ方式の賃金算定の是非を今こゝで言及したいとは思わないが唯我々炭鉱労働者のさゝやかながらも文化的生活をして行く上に於ての必死の要求であり、その家族の心からなる悲願であつたことは、はつきりいえると思う。又全肉体労働を以てする我々炭鉱労働者の賃金が如何に他産業の労働賃金より安いかは天下周知の事実であつて誰一人としてこれを否定することは出来ないであろう。勿論学術的、技術的、精神的いろ〜の面における生産的要素はあるであろうが日本の現在の社会情勢の下にがては各労働者の家庭生活につながる生活賃金的意味を含んでいる現状に於ては許されべき筈がない。その悲壮なる生活状態の切実なる一致した気持が組合員といわずその主婦までが最後まで肉を食いしばつて闘わしめた所以であると私は信じている。この点経営者自体も大いに反省してもらいたいものである。今後の問題としていえることは労資共ハツタリのない厳粛のない要求であり意地や感情から離れた誠実なる交渉によつて一致点を追求する誠意が問題になつてくると思う。資本と労働の宿命的対立の必然性は日本経済の一環としての立場と企業を守ろうとする愛山的精神の血の流れの中には日本人としてあるいは人間としての立場に立つ解決の方途が見出されて行くべきであると思う（終）

次のたゝかいへ
シリーズ（10）

三日の長期にわたる、日本労働運動史上かつて見ることのない歴史的大闘争も「緊急調整」の権力の介入によつて、一応終止符が打たれたとはいえ、今後に幾多の問題を残しているものと思う。私は思う労資共謙虚な気持で今次闘争に関する一切の問題をあらゆる角度から反省し峻烈なる批判がなされると十二日中央執行委員会に於ても闘争自己批判がなされることもあるし各部門に於ても専門的立場に於て具体的事項に対して分析される筈である。私も私なりに抽象的に既するかも知れませんが闘争的闘争の過程を考えて見て私なりの感じたことを忌憚なく書いてみたいと思います。

第一に政治的闘争の意義のみが過大評価され過ぎていなかつたかという点―

当初から総評の指導的方針によつて疲労、困憊を主動体とする今次の労働攻勢は総資本対総労働の対決の秋季闘争であるという本質的闘争の性格はたしかにあつた。何故ならば占領治下における日本労働運動は労働者自身の力による正常なる発展ではなく占領政策のワクのなかでゆがめられ育てられてきたのが実状である。それが講和条約締結発効後の始めての労資間の闘争であつてみれば双方共今後に通ずる気魄を想わしめ、過程に於ては故意に闘争を長引かせ政治的意図を持つもの、如く危惧の念を抱かしめたことは我々労働階級にとつては必ずしもプラスにはならなかつた。しかしながら心ある人々は日本における国内的諸情勢の分析からして経済闘争を主たる目的にするものであつても政治的強力なる推進がなければ目的を完遂し得ない要素を大分にもつていることを理解してもらつたことを信じている。勿論その責任は連盟側の事態収拾の不誠意から招来された遅延にあつたことは計り知ることができる。

第二にマ・バ（全物労式）方式採用の点―

賃金算定に当つてマ・バ方式による労働者としてゆしでも文化的生活確立のために必要なる理論生計費に基礎を置いた坑内一〇KO円、坑外五六〇円の賃金要求に対して連盟側は労働者は「ストをやればベース・アップが必ず出来ると思つているものだ」と思い、断固粉砕しておこうと取組んできたものであるしく当初から今までにかつてない頑迷なる態度で臨んできたことは今次闘争を長期に追込んだものである。水と油の相対的立場をはつきりとマ・バ方式によるベース・アップに対し基本的考え方の差異を見出すわけである。十月十三、十四日の四十八時間ストに引続き十七日からの無期限ストに突入の闘争の端緒もこの基本的問題の対立にある。私はマ・バ方式の賃金算定の是非を今こゝで言及したいとは思わないが唯我々炭鉱労働者のさゝやかながらも文化的生活をして行く上に於ての必死の要求であり、その家族の心からなる悲願であつたことは、はつきりいえると思う。又全肉体労働を以てする我々炭鉱労働者の賃金が如何に他産業の労働賃金より安いかは天下周知の事実であつて誰一人としてこれを否定することは出来ないであろう。勿論学術的、技術的、精神的いろ〜の面における生産的要素はあるであろうが日本の現在の社会情勢の下にがては各労働者の家庭生活につながる生活賃金的意味を含んでいる現状に於ては許されべき筈がない。その悲壮なる生活状態の切実なる一致した気持が組合員といわずその主婦までが最後まで肉を食いしばつて闘わしめた所以であると私は信じている。この点経営者自体も大いに反省してもらいたいものである。今後の問題としていえることは労資共ハツタリのない厳粛のない要求であり意地や感情から離れた誠実なる交渉によつて一致点を追求する誠意が問題になつてくると思う。資本と労働の宿命的対立の必然性は日本経済の一環としての立場と企業を守ろうとする愛山的精神の血の流れの中には日本人としてあるいは人間としての立場に立つ解決の方途が見出されて行くべきであると思う（終）

賃闘自己批判

一、十七社の統一交渉について従前より一歩前進であつたとはいえるが個々の問題、例えば企業差、戦力の均衡、戦術委、中闘委の選出方法等については充分反省すべきである。

二、常盤の脱落＝当初より計画された、常盤幹部の分裂行為である。

三、職組の戦線離脱＝職組全般の実情を調査の上、態度を決定するが、職組問題の徹底的批判は三月大会に提出される行動方針の基本的なものを生出すためになさるべきである。（今後の闘力を闘争を推進して行く為）

四、戦力蓄積の問題＝今次闘争を省みて万全でなかつた事は率直に認めざるを得ない。今後組合員の階級意識の再確認の上に立つてその高揚につとめると共に次の戦力の培養の為闘争資金の蓄積に努力し、その為積立金の増額、負債の早急返済等も考慮すべきである。生活対策についても生協の組織化や労金への積びつき等に努力すべきである。

五、資本別組合への在り方＝将来は産別組合への発展を前提としてその一段階と考えねばならない資本のエゴはすべて、進むべき在

六、マーケット・バスケット方式＝購買活動の強化によつてもつと大衆化しなければならない。

七、総資本と総労働の対決について＝総資本はまとまつたが総労働は残念ながら充分結集し得なかつた。各単産に自己反省を求め、要は総評を強化すべきである。

八、調査機構＝貯炭の増減にあるまで厳選し、常に総資本との対決である事を前提として戦術をたてなければならない。

九、情報の的確性とスピード化＝スト中止の真相など電話で得た内容とオルグ報告の間に食い違いがあつた、確実且つ迅速に情報が得られるよう努力すべきである。

十、スト戦術＝裏取性のある然も相手に最も打撃を与える有効な戦術をとる事。戦術の決定は山元の眼勝を把握して慎重に決定また質的なものも考慮する必要がある。

十一、中労委、政府の動きに対し＝今次闘争に際し与党内民主化同盟の内紛等で緊急調整が仲々出せなかつた事情などから考えても野党勢力をもつと強化する必要が痛感される。その為にはあらゆる機会に労働者代表を出来るだけ多く送り出すべきである。外部からの借入金は労働金庫から

期末手當闘争の自己批判

一、共闘運絡会議を開催せよとの強い主張にも拘らずこれが充分運営されず、先頭に立つな、チ

借金、六月で完済
知つて頂きたい借入金の内譯

生活資金の返済については十二日千八百万円、他単産から千九百万円、計三千七百万円となつて居りこれを当面三井信託並に帝国銀行の中央委員会で愈々四月十五日から毎月千円宛返済と決定したが、三池鉱業では引続き以上三点につき会社側と交渉を行つて居たが、十二日次のように決定した旨宮川中

三井3位に食込む
三池は地力を出し得ず13位
豪華・第4回朝日驛傳

十一日第四回朝日駅伝は十九チーム旭化成二位を破れ三位でゴール、吾が三池チームは昨年八位であつたが各選手の不調もあつて十三位でゴールした。

△一区は福岡―篠栗十四粁五百の間で行われた三井鉱山は曽藤、三池は乗行の二君が出場、篠栗街道に出る二股瀬附近迄は二、三名を残して一団となり力走又力走であつたが、曽藤君は一分半位のブレーキがかゝり八位、乗行君は三池チームでは一番早く将来を期待されているが、当日も優秀メンバーに伍して九位でバトンを渡したことは上首尾であつたといえよう。

△二区篠栗―木山十一粁百　三井宮原、三池前田の両君であつたが、二人とも当日はコンディションが悪く宮原君が十一位でゴール、前田君も十五位でゴールした。

△三区八木山―飯塚十一粁二百　三井中村、三池福田君が走つた福田君は八木山下りで宮田町青年団チームを抜き十四位でバトン、中村君は旭化成、門鉄を抜き九位でバトンとの頃からAクラスとしての三井鉱山チームの力走が始つた。

△四区飯塚―田川十五粁八百　走者は三井岡本、三池淵上の両君が敢闘、岡本君はオリンピック選手内川に続く強者でこの日も期待にそむかず宇部興産、東洋工業を抜き六位でバトン、三池の淵上君は十二位の小倉市チームを追つて十四位のまゝバトン

△五区田川―直方十七粁二百　走者は三井長谷川、三池近藤の両君が出場、長谷川君は福岡AO銀座通りを抜き六位でバトン、近藤君も小倉市を目前に追つて十四位のまゝバトン

△六区直方―八幡二十一粁三百　走者三井は不調、あつたとはいえオリンピック出場の貫録をもつ内川、三池は好調を続けている高木とこゝは長距離であつて残すところ一区でこの区間は各チームとも百番抜群であつて福々番戦を予想されていたが、期待にそむかず内川はチーム順位は五位そのまゝであつたが七分二七秒で区間賞を獲得、三池高木君はピッチに物いわせて四区、五区で追つた小倉市チームを抜き十三位でバトン

△七区八幡―門司十六粁、走者三井三宅、三池宗渡であつたが、宗渡君は前日の練習で足をねんざしかはつて補欠の富斗君が出場、三宅君は全鑛筋を抜いて三位でゴールイン、富斗君は小倉市附近で麻生鉱業を抜き十二位に進出したが、門司市附近になつて小倉市チームより抜かれ十三位のまゝでゴールインした。

△八区門司―下関二十六粁百　三井畑、三池田川の両君が出場、畑君は三井鉱山の六位を抜き五位でゴール、田川君は旭化成A五位を抜き四位でゴールインした。

△九区下関―山陽二十一粁百　三井中村、三池宮原の両君が出場、三宅君は全鑛筋を抜いて三位でゴールイン、富斗君は小倉市附近で麻生鉱業を抜き十二位に進出したが、門司市附近になつて小倉市チームより抜かれ十三位のまゝでゴールインした。

△一中央大学　五時間五九分三九秒
△二旭化成A　五〇　五九分二〇
△三三井鉱山　六〇　三〇
△四八幡製鉄　六〇　四二分二四
△五全鑛筋　六〇　六〇分三三
△六宇部興産　六〇　一〇分二四
△七福岡AO　六〇　一二分三三
△八東洋工業　六〇　一四分二九
△九旭化成B　六〇　一五分二〇
△一〇菱鉱業　六〇　一六分三五
△一一門鉄　六〇　一九分二二
△一二小倉市　六〇　二三分四八
△一三三井三池　六〇　二五分二〇
△一四麻生鉱業　六〇　二六分四
△一五西鉄　六〇　二四分四五
△一六宮田青年　六〇　四四分四六
△一七明治鉱業　六〇　四八分一五
△一八門司市　七〇　五八分八
△一九戸畑市　七〇　一六分三四

訂正

みいけ新年号（二六三号）三面所載陸談会記事中堤さんの堤町ですゝそくした。たゞ僅かに労働大会はこの際会社につけば…云々とあるは久米町とはこの際…云々の誤りにつき訂正致します。御迷惑を御掛けした向に対し深く御わびを申上げます。

時間の空費、年に十四万時間
恨しい大牟田の踏切り

大牟田名物数あれど　トロンコ川に黒遮路、も一つおま